

～このサイトで学べること～
n箇所の窓口・席が空いていて、サービスにt'時間かかる時の待ち時間を計算し、入力するパラメータが任意に変化した際の結果をグラフ、問題により比較しながら学べます。

n(窓口、席数):

t' (平均利用時間) :

α (1分あたりの来場者数) :

σ (平均利用時間の標準偏差) :

計算する

表

入力したパラメータによる結果			
試行回数	平均待ち時間	試行回数	平均待ち時間
5000		30000	
10000		35000	
15000		40000	
20000		45000	
25000		50000	

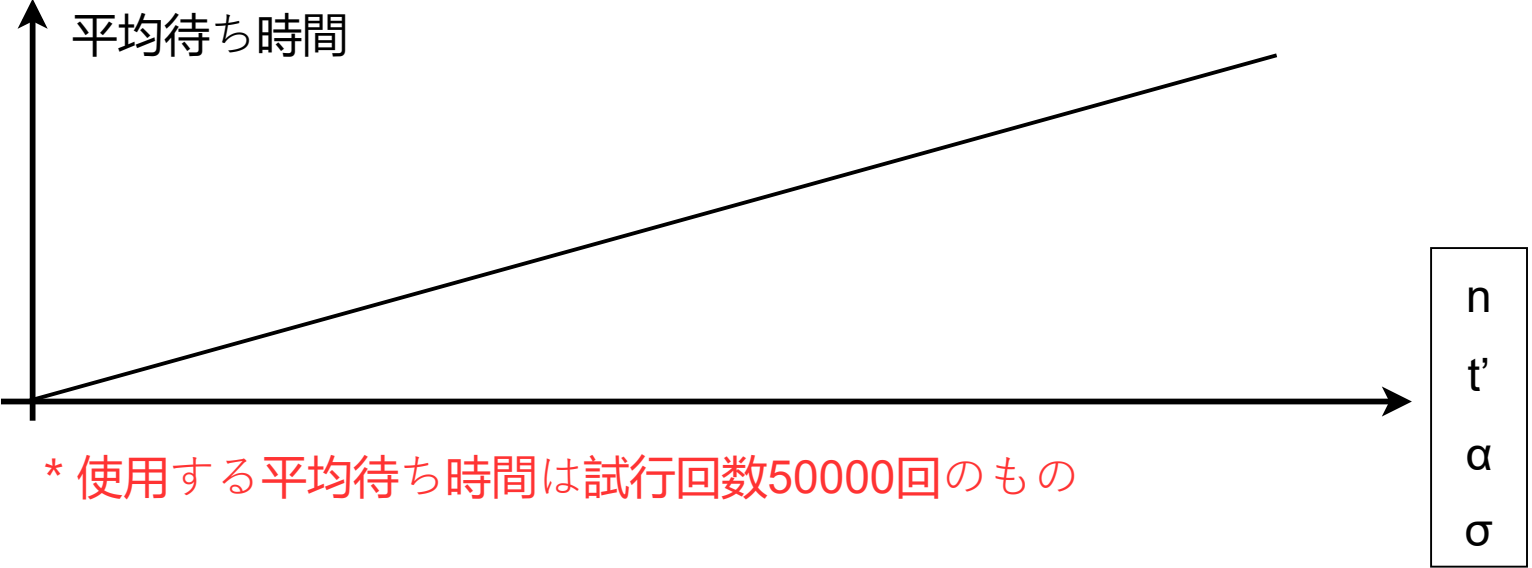
グラフ

入力したパラメータから任意で増加・減少したときのグラフを出力します

* 複数選択可能

入力した ☐ n ☐ t' ☐ α ☐ σ を ずつ

☐ 増加 ☐ 減少 させる



問題

* 今回の問いや、n・α、2倍などのパラメータ・数値はランダムで変化させる

平均待ち時間が長いのは？

n (窓口) の数を2倍したとき

α (1分あたりの来場者数) が2倍になったとき

答え合わせをする

↓答え合わせボタンを押したあと

不正解！！

使用するパラメータは入力したものかつ、試行回数50000回のものです

条件	平均待ち時間
n (窓口) の数を2倍したとき	
α (1分あたりの来場者数) が2倍になったとき	